

～コロナ拡大する中 重病の子どもたちに笑いを 道化師たちの奮闘～

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、重い病気をかかえ外出を制限されている子どもたちを励まそうと、「ホスピタル・クラウン」と呼ばれる道化師たちがライブ配信で笑いを届けています。

16年前から「ホスピタル・クラウン」として活動している大棟耕介さん(50)は150人の仲間たちと毎月全国100か所近い病院を訪ね、難病や重い障害がある子どもたちに笑いを届けてきました。しかし新型コロナウイルスの感染が拡大し、2月下旬以降は訪問を取りやめざるをえない状況が続いています。

大棟さんは「子どもたちは外出したり、人と会ったりすることが16歳以上には制限されるだけでなく、家族の不安や病院の緊張感を敏感に受け取って、気が合わないうちにストレスをためこんでいると思います。今だからこそ、ピアノ・ダンスで明るい気持ちにしてあげたいのですが、訪問できないことがものすごく悔しいです」と話しました。

そこで大棟さんは子どもたちに笑顔になってもらいたいと、先月から毎日、インターネットの動画投稿サイトで道化師たちのパフォーマンズの動画配信を始めました。そして今回、新たにテレビ会議アプリを使った「無観客ライブ」にも挑戦しました。

闘病中の子とまたちとパソコン画面を通してつながり、一人一人の名前を呼びかけたり手拍子を求めたりしながら、40 分間にわたってパソコンを披露しました。

パソコンには、子どもたちの楽しそうなアクションが映し出され、大棟さんは「不自由だからこぞできること、楽しく思えることがあり、可能性を感じることができました。本当は子どもたちのもとを訪ねて、握手をしたり抱き締めたりしたいのですが、それができません。今は我慢をして次に会えたとき、一緒にたくさん遊びたいです」と話していました。

《感想》

(8) ۱۰ تا ۲۵ درصد

[illegible]

○分かんない言葉(読み方・意味)は、赤線を引く。
○記事の内容を、読んだ感想を文章で書く。

○記事の内容が、読んだ感想を文章で書く。



〈예〉

예